

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢つむぎ子ども支援センターステップ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員数を多く配置していることで、子ども一人一人と向き合える時間を多くとりながら支援が行えている。	定期的子ども一人一人と面談を行い、日ごろの様子等を聞き取りを行っています。 個々の特性を考え、外活動や様々なイベントを企画し、日々楽しく過ごせるよう心がけています。	今後も一人一人と向き合う時間を作り、よりよい環境の構築に努めます。
2	余暇時間や長期休暇を利用し、外活動に力を入れ、いろいろな経験や体験を積むことができる。	季節の行事や学校やご家庭ではできない体験・経験を集団の中で楽しく学び子供たちの成長のサポートを行っています。 幅広い年齢、特性の子どもたちがいるため、活動内容やグループ分けを行いそれぞれに合った支援・活動を心掛けています。	活動部屋を増やしたことで、さらに特性や年齢に応じた支援を行いやすくなりました。子どもたちや保護者の要望を踏まえ活動に生かしていきます。
3	子どもたちの様子を送迎時やLINEを通じて情報の共有を行い、ご家庭での困りごと等相談にすぐに対応できる環境を整えています。	保護者から相談連絡があった場合は電話やLINE、家庭訪問を行うことで助言を行います。可能な限り時間調整を行い、少しでも早く話し合いの場が設けられるようにしています。	今後も保護者と情報共有を行い、各関係機関と連携しより多くのニーズにこたえられるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を設けられていない	働いている保護者が多く、日程や時間の調整が難しい	全体で行うことにこだわらず、通っている学校によって(特別支援学校・支援級)グループを分け開催できるようにしていきたい。
2	地位との関わり、地域住民(子ども)との関わり	平日のみの開所のため、地域のイベント等への参加が難しい 地域の方とのコミュニケーションがなかなか取れていない	長期休暇等をうまく利用し、平日行われているイベント等あれば積極的に参加できないか相談、検討していく。 地域の方や施設とのコミュニケーションを図り、地域の子どもの交流の場を作れるようにしていきたい。
3	保護者への情報発信が不十分などがある	マニュアルについて作成されているが保護者の方への説明が不十分などがあった。	今後、保護者回答を行う際に事業所内の案内やマニュアルの説明等も行い、今以上に周知できるよう努める。 参加できない保護者に対してはお知らせ等を作成し周知できるようにしていきたい。